



住吉小だより

<http://www.fuchu12s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

電話 042-361-6319

FAX 042-334-0873

府中市立住吉小学校
校長 木下 和紀
令和6年9月30日
令和6年度 第7号

チーム住吉 地域と共に育てるといふこと

校長 木下 和紀

この夏に、地域の方が住吉小の児童の勇気ある行動に感激し、感謝を伝えたいと学校へいらしたことが2件ありましたので紹介します。

7月中旬、地域の方が学校を訪れ、前日にあった感激したことを話してくださいました。内容は、前日の午後3時過ぎ、学校そばの道路でおじいさんが足を滑らせて転んで動けなくなっていたところに、通りかかりの住吉小学校の6年生が近寄ってきて声をかけ、近くのマンションの管理人さんのところに助けを求めに行ってくれたとのこと。また、別の6年生は、転んでいたおじいさんがマンションの部屋まで連れていかれるときに、おじいさんの持っていた荷物を持って、おじいさんのマンションの部屋まで一緒に運んでくれたとのこと。これらの6年生の行動に感激し、ぜひお礼をしたいので学校にいらしたとのこと。また、翌日マンションの管理人さんは、感謝状を作って学校に届けてくださいました。このことは、1学期の終業式で全校児童に紹介し、勇気ある行動の素晴らしさについて話をしました。

8月下旬、別の地域の方が学校を訪れ、8月中旬にあった感激したことを話してくださいました。内容は、午後2時ごろ、学校前の道路でおばあさんが自転車で転んで出血し動けなくなっていたところに、通りかかりの住吉小の6年生が近寄ってきて声をかけ、血を拭いてくれて、学校まで助けを求めに行ってくれたとのこと。夏休み中のため、学校には誰もいませんでした。おばあさんのところに戻り、おばあさんに励ましの声をかけながら、おばあさんの家まで自転車を押して行ってくれたとのこと。心優しい行動に感激し、ぜひお礼を伝えたいので学校にいらしたとのこと。このことは、全校朝会で全校児童に紹介し、勇気ある行動がたくさんの人を感激させることを話しました。

今回、地域の方からのご連絡があり、住吉小の児童の勇気ある素晴らしい行動を改めて全校児童に伝えることができました。感謝された児童は、自分の行動が正しかったことを再確認でき、自分への自信になったことと思います。また、これらの話を聞いた多くの児童は、勇気を持って行動することの大切さを感じたことと思います。地域での児童の素晴らしい行動は、学校が知らないところで数多くあるものと思います。ぜひ、地域での児童の素晴らしい行動は、学校に知らせていただければと考えます。素晴らしい行動を褒められ、地域の方からも認められ、自分に自信をもち、地域に誇りと愛着をもつ児童を地域と共に育てていきたいと考えます。



5年 宿泊学習「わくわく自然教室」

5年生は9月18日（水）から9月21日（土）まで3泊4日の行程でわくわく自然教室に長野県飯山市へ行ってきました。初めての宿泊行事とあって、行事の前から、楽しみにしている声と、親元を離れることの不安の声を聞いていました。車酔いをする子供にとっては、片道4時間余り、バスに乗っていることも不安だったかもしれません。実施してみれば、バス酔いする子はいなく、充実した行程で帰ってきました。

1日目

この日の目玉は希望湖1周のトレッキングです。10名ほどの行動班ごとに現地のガイドさんが1名付き、間近に見られる植物の説明を聞きながら周りました。和菓子にも使われるクロモジを指でもんで香りをかぎ、弓を入れる形に似た植物には「カズラ」という名前が付くという説明に納得しながら歩きました。雨の中のトレッキングになったことは残念でしたが、1周を周り終えた時には、晴れ間が見えてきました。

2日目

昨夜泊まった斑尾高原ホテルの豪華な食事、ベッドのある部屋に興奮した5年生。この日は、もうホテルライフともお別れで、戸狩温泉の民宿に向かいます。午前中は、和紙の紙漉き体験を行い、洋紙との違いを実感しました。自分で作ったはがきサイズのオリジナル和紙をお土産としてもらうことになりました。また、市内散策では、飯山城を中心にして周り、歴史にゆかりのある地であることも実感しました。午後はそれぞれの民宿に着き、自分達が民宿生活で使う箸を竹から制作しました。

3日目

自然教室のクライマックスでもある千曲川の約5キロメートルのラフティングです。天候が心配されましたが、無事に恵まれました。行動班ごとにライフガードを身に着けて1艇のゴムボードに乗り込みます。流れの速い瀬に入ると、リアルインディージョーンズの冒険気分で大興奮。リーダーからの様々なミッションをクリアしながら、まさにチームビルディングができた体験でした。午後は民宿ごとに提供されるプログラムに参加、疲れている体もなんのその、野菜収穫や泥団子づくりなど、楽しく活動しました。

4日目

いよいよ、府中に向けて出発の日。午前中は自分たちがお昼に食べる郷土料理の笹寿司を作りました。民宿ごとのお別れ会では、別れを惜しみ涙ぐむ姿も見られました。民宿の方々に、よくしていただき、心も強くなり、チームワークの力も高めて帰ってきました。

まさに、スローガンとして立てた「元気・協力×2」を達成できたわくわく自然教室になりました。



1年 生活科「秋探し」

9月24日（火）に、1年生は中河原公園に秋探しに行ってきました。今までの暑さはなく涼しくて、絶好の秋探し日和になりました。

「どんな虫がいるかな。」と、あちらこちらの草むらに入り、「この辺りに、何かいないかな。」「小さい穴が、いっぱいある。」「虫は、動きが速いなあ。」など、気付いたことを話しながら、虫を探していました。

バッタ、コオロギ、アリ、ダンゴムシなどを見つけることができました。思ったほどの虫が見つけれず残念でした。次回は、多摩川の河川敷に出かけます。その時は、たくさんの虫たちに出会えるよう期待しています。



6年 総合「まちクリエイターになろう！」

自分の好きなことや得意なことを生かして生き生きと活躍するゲストティーチャーをお招きして、お話を伺いました。FC 東京の方、フリーアナウンサーの方、府中市多様性社会推進課の方、がいらっしやいました。

各々の活動の魅力、この活動をスタートするきっかけとなる出会いなど、興味深いお話ばかりで、子供達は目をキラキラさせて聞き入っていました。どのクリエイターの方も「自分の好きを大事に」ということをお話してくださいました。子供たちが今もっている「好き」を大事にすること、これから出会う「好き」を見つけていくことが楽しみです。

